

「うるま市津堅島ヘリポート施設整備基本計画(案)」の意見募集の結果

- 意見募集期間 : 令和6年2月1日から同月29日まで
- 提出意見件数 : 1件(1人)
- 意見及び考え方 : 「うるま市津堅島ヘリポート施設整備基本計画(案)」についての意見及びそれに対する考え方は、以下のとおりです。
意見を類型化し、主な意見の概要を掲載しています。

No	意見	考え方	計画修正の有無
1	<p>沖縄本島東方沖を震源とする海溝型地震特に3連動が発生した場合には20mを超える津波が沖縄本島東海岸側に押し寄せます。津波の高さ以上まで津波が遡上する事も予測されています。今回のヘリポート建設予定地は最大津波高を勘案すると水没するエリアに当たります。</p> <p>島民の皆さまを救うためには、屋上にヘリポートを有する津波避難タワー型の公民館などを作っておく必要があります。</p> <p>ドクターヘリの普段の搬送や夜間の急患空輸にも活用可能なように、夜間照明や最大荷重11tを確保しておく事が望まれます。</p> <p>今回のヘリポートについては、現在の津堅小中学校校庭を利用するより安全かつ確実に着陸できるため非常に助かりますが、津波被害を鑑みると、これとは別に津波を想定した上で高台にさらに嵩上しての津波避難タワー型ヘリポートが必要と考えます。</p>	<p>津堅島の津波被害については、沖縄県津波浸水想定(平成27年3月)を基に検証しており、候補地Aは、約12mの高さの津波が想定されます。</p> <p>候補地Aの地盤レベルが約10mであるため、約4mの嵩上げ(土盛り)を行うことで津波想定高さより約2m程度、高くなる計画になり、津波被害は受けないものと考えております。</p>	無し